

玉出中だより

平成30年1月30日
大阪市立玉出中学校
1月増刊号 No.23

パフォーマー・ちゃんへんさん人権講演会「あきらめない心」

1月12日（金）5・6時間目、在日三世で世界的なプロパフォーマーの「ちゃんへん」さんを講師に招き、「あきらめない心」をテーマに人権講演会を実施しました。

中学2年生でジャグリングと出会い、プロのパフォーマーを志したちゃんへんさん、17歳で「大道芸ワールドカップ2002」人気投票で1位を獲得し、プロパフォーマーの世界に入られました。高校卒業後は海外をメインに活動、現在は、大阪ユニバーサルシティ等の公認パフォーマーとして活躍される中、学校をはじめ全国各地で講演活動をされています。

第1部では、ジャグリングのパフォーマンスを見せていただきました。球体を使ったバランスの演技から、ヨーヨー、デビルスティック、ボール、リング、クラブを使ってのトスジャグリングなど、世界トップクラスの技のすごさに子どもたちは食い入るようになっていました。パフォーマンスの最後は、最も得意とされているディアボロ（中国ゴマ）の演技です。狭い舞台の上ででしたが、一切手を抜くことなく、全力の技を見せてくれました。

第2部では、在日コリアンの歴史や自身の生き立ち、壮絶ないじめを受けながらも家族とのつながりの中で自分の夢を追いかけていった話など、力強く語っていただきました。最後に、自身の孤独な小中学生時代を等身大で表現した「根無し草」と祖父の波乱万丈を詠み上げた「Ghost Blues」の2曲のラップを聴かせていただきました。

母が学校に来て校長先生に言った「いじめよりもしあいものがないから、いじめが起ころんや。」「素敵な夢を持っている子はいじめなんてせえへんのや。」

曾祖母が言った「いじめられたくなかったら人より努力しなさい。好きなことで一生懸命頑張って一番になりなさい。努力して一番になったら、お前を守ってくれる人がたくさん集まってくる。」という言葉が強く印象に残りました。

みなさんも、ちゃんへんさんの数々のメッセージに心響くものを感じてくれたと思います。ちゃんへんさん、ありがとうございました。

2年百人一首大会

1月16日（火）5・6時間目、2年生は体育館において「百人一首大会」を実施しました。15グループにわかれ熱い戦いが繰り広げられました。国語科の授業の中で取り組んできた学習の成果を発揮し、一枚でも多くのカルタを取ろうと、一人ひとりが頑張っていました。

クラス優勝は3組、個人戦は81枚の札を取った1組の本田瑞希さんが優勝しました。

- | | | | | | |
|-----|----------|-----------|-----|----------|-----|
| 1位 | 本田瑞希（1組） | 81枚 | 2位 | 後藤璃美（1組） | 66枚 |
| 3位 | 木村百合（2組） | ・寺次駿燿（3組） | 62枚 | | |
| 5位 | 鈴木華音（2組） | 60枚 | 6位 | 大峰莉乃（2組） | 57枚 |
| 7位 | 西條夏海（3組） | 53枚 | | | |
| 8位 | 塙尻美咲（1組） | ・関口斗鬼（1組） | 51枚 | | |
| 10位 | 宮崎杏（3組） | 50枚 | | | |



1・2年土曜授業 生山裕人氏（元千葉ロッテマリーンズ）講演会

『夢の見つけ方 叶え方 誠め方～全力疾走でワクワクの先へ～』

1月13日（土）、元プロ野球選手（千葉ロッテマリーンズ）・生山裕人氏を講師に招き、「夢の見つけ方 叶え方 誠め方～全力疾走でワクワクの先へ～」をテーマに、進路学習を目的とした人権講演会を1・2年生対象に実施しました。

教師を志していた生山氏が、大学入学後、野球にのめり込み、足が速いという「自分武器」を最大限に生かしてプロ野球選手になった話、厳しいプロの現実、ウェディングプランナーへの転身など、「夢」の見つけ方、叶え方について、自身のエピソードをもとに話してくださいました。

- 「中学生の今しかできないこと」
- 「自分の武器で人の心を動かす」
- 「自分の武器で『ありがとう』を作る」
- 「誰でもできるけど誰もしないことを継続する」
- 「勇気サイクル」
- 「勇気を出すための準備と覚悟」
- 「失敗が愛を生み、成功が自信を生み、その経験が人間力を高める」
- 「何になりたいかではなく、どうありたいか」

子どもたちの今後の進路選択に有意義となるキーワードをあげながら、自身の体験から子どもたちに教えていただきました。自分の未来のために「どうありたいかという自分の芯を作る」⇒『自芯』を持ってほしいと子どもたちに伝えていただきました。

最後に『夢の誠め方』について、「夢に向かってとことんやりきって、後悔しないまでやりきって、次のステップの夢を追いかけていく。自分自身も次の夢に向かって進んでいるところです」と締めくくられました。

生山氏の講演を、自分の未来に、これから日々の学習に生かしてほしいと思います。

1年 駅伝大会 総合優勝は3組

1月25日（木）5・6時間目、1年生は駅伝大会を実施しました。各クラスで3チームを編成、各チーム10～11名のメンバーで運動場1周と学校外周1周（約800m）を20周し、3チームの合計タイムで総合優勝を競います。

各チーム、思い思いのメッセージを書き込んだ手作りの「たすき」を繋ぎ、1位でゴールしたのは3組Cチーム「駅弁」、続いて2位に2組Aチーム「チーターズ」、3位に3組Bチーム「天下無双の最強」がゴールしました。最後のランナーが運動場に入ってきたら、多くの生徒が走り寄り、大声援を送っていました。1年生のお互いを思いやる優しさが伝わる瞬間となり、寒い中でしたが心の中が熱くなってくる大会となりました。一人ひとりの頑張りとお互いを思いやる優しい心が感じられる温かい学年行事となりました。これからも学級・学年の団結を高め、さらなる高みを目指して頑張ってください。

寒い中、外周道路で子どもたちの安全確保にご協力いただいた保護者の皆様、応援に駆け付けていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

